



2024. 5. 10. №1444  
静岡県漁業協同組合連合会  
☎054-254-6011 Fax054-253-9343  
編集・発行＝指導部漁業振興課  
<http://www.sogyoren.jf-net.ne.jp/>

### 1. 第 89 回大漁祈願祭が挙行される！

本会は、4月13日に三島市の三嶋大社において、第89回大漁祈願祭を挙行しました。この祈願祭は、我が国最初の漁業法が、1901年（明治34年）4月13日に誕生したのを記念し、1933年（昭和8年）に定められた水産デーの主行事として、1934年（昭和9年）から毎年（戦時中の2年を除き）吉例行事として執り行われてきました。

本年は、漁協・関係団体・県など21団体・43名が参列し、本殿神前には各漁協等から多くの海の幸が奉納され、禰宜や巫女による舞が奉納された後、本会・県・地区運営委員会及び水産関係団体の代表者が玉ぐしを奉げ、本年の大漁と航海の安全を祈願し、本県水産業の振興発展を願いました。

### 2. 令和6年度水産事業概要説明会が開催される

県経済産業部水産・海洋局では、4月30日に県庁会議室及びオンライン併用のハイブリッド方式により令和6年度水産事業概要説明会を開催しました。

説明会では、山下水産・海洋局長より、本県水産業の動向と令和6年度の水産施策の重点事項4項目【①水産業の魅力の増大 ②新たな海洋産業の創造・育成 ③海・川の恵みの持続的な利用の確保 ④資源の維持・増大に向けた調査・研究の推進】についての概要説明が行われました。

引き続き、漁港整備課、水産振興課、水産資源課、水産・海洋技術研究所の各担当者から、所管する個別事業の概要について夫々説明がありました。

なお、昨年まで実施していた「水産イノベーション推進事業費助成」は本年度から「海業スタートアップ、イノベーション創出支援事業」に変更され、海業のスタートアップ支援と、異業種連携によるイノベーションの創出支援を併せた事業となりました。

### 3. セーフティーネット申込状況と第4四半期の補填判定結果公表！

令和6年度の漁業経営セーフティーネット構築事業の申し込みが3月31日をもって締め切られ、申込件数・積立金額が確定しました。

令和5年度漁業経営セーフティーネット構築事業の漁業用燃油においては、ロシアによるウクライナ侵攻の影響に加え、円安が続いたこともあり、原油価格が高止まりし、年度を通して補填が発動することとなりました。

また、養殖用配合飼料においても同様の理由から配合飼料価格が高騰し、年度を通して補

**安全・安心な水産物供給と活力ある漁業づくりに努めよう**

## 自立漁協の構築に向け合併・事業統合を進めよう

填が発動しました。

当該事業への加入は、各種水産関係補助事業の申請における必須要件であることに加え、昨年度も県が実施した「漁業用燃油等価格高騰対策緊急支援事業」の補助金を受給するための条件として、セーフティーネット構築事業への加入が必須となっていることから、令和6年度の加入者数は昨年より若干増加しました。また、養殖用配合飼料においては、積立単価の上限が2倍近くに引き上げられたこともあり、積立金額は昨年の3倍以上となっています。

令和6年度の申込件数・積立金額は以下のとおりです。

＜燃油＞ 申込件数 545件 積立金額 241,814,700円

＜配合飼料＞ 申込件数 65件 積立金額 286,729,500円

また、4月22日には漁業用燃油で令和5年度第4四半期の補填判定結果が公表され、補填単価21,280円/kℓで補填発動が確定しました。4月26日には養殖用配合飼料でも補填判定結果が公表され、補填単価57,610円/トで補填発動が確定しました。

### 4. 新入生（第55期生）9人が入学 — 県立漁業高等学園 令和6年度新入生 —

県立漁業高等学園（阿久津哲也園長）は4月4日に新入生、保護者、漁業関係者、県担当者や学園教職員参加のもと、第55期生の入学式を執り行いました。

入学生徒は15～22歳までの9名で、県内出身者が2名（沼津市、駿東郡から各1名）、県外出身者が6都府県から7名（群馬県2名、東京都1名、岐阜県1名、大阪府1名、兵庫県1名、福岡県1名）となっています。

式辞で阿久津園長は、「当学園は開学以来1028名の卒業生が沖合漁業や遠洋漁業に就職している。日々の勉学に努め、漁業者への道を着実に進んでいって欲しい。ここでの努力が未来の皆さんの力となって返ってくる。来年3月に皆さんの成長した姿をみられることを楽しみにしている。」と述べ、続いて藪田国之後援会長（高瀬進常任理事代読）、中野弘道焼津市長（福與直己副市長代読）、山下啓道県経済産業部水産・海洋局長が夫々祝辞や激励の言葉を述べられました。

これに応え、入学生を代表し、大岩慧世太さん（群馬県出身）が、「規律正しい生活を心掛け、仲間と切磋琢磨しながら日々の学業に取り組み、静岡県の漁業の良き後継者となるよう、日々努力していく。」と誓いの言葉を述べました。

今後新入生は全寮制で1年間、次代の県内漁業を担う幹部漁船員を目指して、漁船漁業に必要な専門知識や技術の習得に励んでいくこととなります。

本紙は、県内の漁業振興を目的に（公財）静岡県漁業振興基金の協力により発行する定期刊行物です。

**漁協系統事業の全利用運動を進め組織の強化を図ろう**